

科目名	関係法規－②	対象学年・時期	3年 前期
講師	非常勤講師	単位数・時間数	1単位・15時間
授業概要	対象が人間である看護においては、基礎分野における社会環境との相互作用を繰り返すという人間の理解に加えて、人間の尊厳と対象の権利を守るためにも法規の理解が重要である。人間の理解をベースとして、看護師の職務範囲と社会における看護の立ち位置を理解し、看護が担うべき社会的責任を考える力を養うため関係法規を理解する必要がある。人間社会は、様々な法律により社会の秩序が保たれ安寧が維持され、人々の生活が成り立っていることを理解する。看護に関する法律を学ぶことで、専門職業人としての責任を自覚する。また、法的根拠に基づいた看護ケアは対象の権利擁護につながることを理解する。		
授業形態	講義		
学習目標	1. 法の概念が理解できる。 2. 医療関係法規の概要が理解できる。 3. 看護活動と関連する関係法規が理解できる。		
授業計画	<div> <div> 1. 医事法  A 医療法  1) 目的  2) 医療提供の理念など  3) 定義など  4) 医療に関する選択の支援などに関する事項  5) 医療の安全の確保  6) 病院・診療所・助産所の開設などの規制  7) 病院等の管理  8) 病院等の人数  9) 病院等の構造設備  10) 診療に関する諸記録など  11) 病院等の監督  12) 医療計画などによる医療提供体制の確保  13) 附則における医師の働き方改革に関する規定  14) 医療法人制度    B 医療に関する資格  1) 医師・歯科医師・薬剤師  2) 診療に関する職種  3) 保健福祉に関する職種  ①社会福祉士及び介護福祉法  4) 衛生に関する職種  ①愛玩動物看護師法  5) 看護に係る資格の概要    C 医療を支える法  1) 医療・介護の提供体制  ①地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律  2) 移植医療 </div> <div> 2. 環境衛生の法令  1) 営業  2) 環境整備    3. 薬務法  A 薬事一般  B 人などの組織を用いた医療関連  C 薬害被害者の救済など  D 麻薬・毒物などの規制    4. 環境法  A 環境保全の基本法令  B 公害防止の法令  C 自然保護の法令    5. 労働法・社会基盤整備  1) 労働基準法  2) 労働契約法  3) 労働安全衛生法  4) 過労死等防止対策推進法  5) 労働者災害補償保険法  6) 雇用保険法  7) 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律  8) 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律 </div> </div>		
使用テキスト・参考書	・系統看護学講座専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 ④「看護関係法令」第57版 森山幹夫著 医学書院 【参考書】 ・ナーシンググラフィカ健康支援と社会保障④「公衆衛生」第6版 平野かよ子他著 メディカ出版 ・ナーシンググラフィカ健康支援と社会保障③「社会福祉と社会保障」第6版 増田雅暢他著 メディカ出版		
事前・事後学修	筆記試験		
評価基準・評価方法	医療に関する動向に関するトピックと関連している法に関心を持ち、調べて予習、復習とする。		
備考			